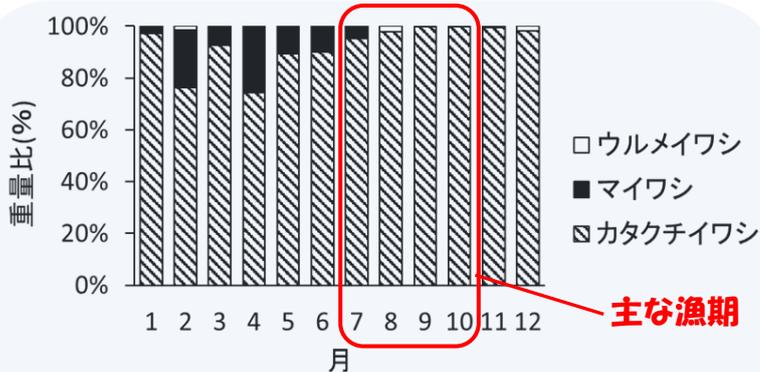


◆ 福島県のシラス豆知識



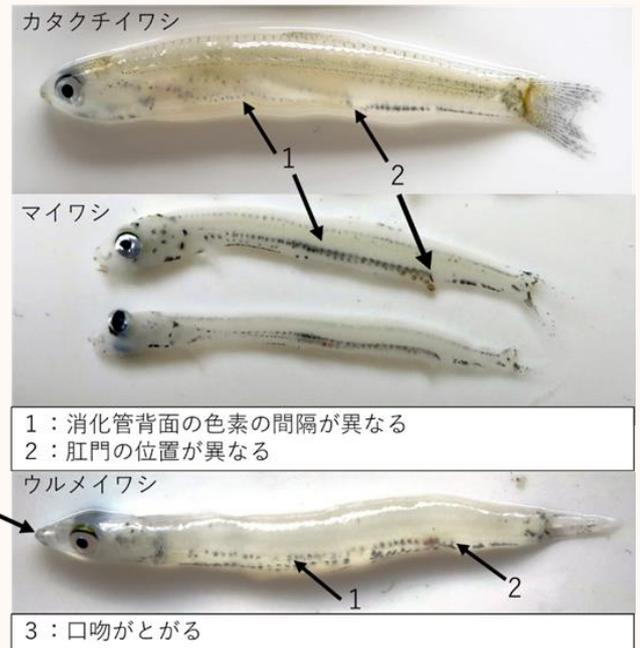
シラス3種の割合

(緊急時環境放射線モニタリングのシラス検体)

シラスは、試験操業の漁獲量の約5~20%を占める重要な魚種です。福島県では主に7~10月に漁獲されており、シラスの主体はカタクチイワシの子ですが、マイワシやウルメイワシの子も漁獲されています。

頭が丸いのがカタクチイワシの子で、そのほかの見分け方のポイントは右図のとおりです。

当センターでは、今後もシラスの調査・研究を行っていく予定です。



シラスの見分け方

◆ 調査船いわき丸によるトロール調査

当センターでは、底びき網漁業の対象魚種である底魚類（ヒラメ・カレイ・タラ・タコ・カニなど）の資源状況や稚魚の発生状況を把握するため、調査船いわき丸による底びき網調査を実施しています。

毎月1回、相馬沖の5地点、いわき沖の5地点で、底びき網を用いて海底を20分程度曳網し、魚介類を採集しています。採集された魚介類は、種類ごとに分けて重さや数、雌雄、成熟状態、年齢、胃内容物等を調べます。

得られたデータから、有用魚介類の資源状況等を推定し、漁業者へ情報提供することで、資源管理や効率的な操業の参考としてまいります。



底びき網調査の様子



底びき網調査の採集物生物



測定の様子

◎ 福島県水産海洋研究センター

◇ 所在地 〒970-0316 福島県いわき市小名浜下神白字松下 13-2

◇ 電話番号 0246-54-3151 (代表) ◇ メール kaiyoken@pref.fukushima.lg.jp

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380/>

